

## 2017年度第4回 鋼構造運営委員会 議事録

1. 日時 2018年3月20日(水) 14:30~17:45
2. 場所 建築会館会議室 304号
3. 出席者 井戸田秀樹, 五十嵐規矩夫, 田中剛, 松本由香(岡崎太一郎 代理), 岡本哲美,  
(敬称略) 尾崎文宣, 木村祥裕, 下川弘海, 田川泰久, 竹内徹, 多田元英, 成原弘之  
西山功, 原田幸博, 緑川光正, 見波進, 山田哲, 兼光知己(記録)  
欠席: 一戸康生, 宇佐美徹, 越智健之, 笠井和彦, 向野聡彦, 澤本佳和,  
津田恵吾, 中込忠男
4. 資料(ストレージサーバ)
  - 04-01 議事予定(井戸田主査)
  - 04-02 2017年度第3回鋼構造運営委員会議事録案(兼光)
  - 04-03 第2回構造本委員会資料(井戸田主査)
  - 04-04-1 第4回鋼構造座屈小委員会議事録案(木村委員)
  - 04-04-2 座屈小委員会活動成果報告(木村委員)
  - 04-05-1 鋼構造接合小委員会 2017年度活動報告(山田委員)
  - 04-05-2 鋼構造接合小委員会 第3回小委員会議事録案(山田委員)
  - 04-05-3 鋼構造接合小委員会 第4回小委員会議事録案(山田委員)
  - 04-05-4 鋼構造接合小委員会 第5回小委員会議事録案(山田委員)
  - 04-06 素材小委員会(見波委員)
  - 04-07-1 環境小委員会(兼光)
  - 04-07-2 環境小委員会 2017年度活動報告(兼光)
  - 04-08-1 塑性設計小委員会議事録(案)第4回第5回(五十嵐幹事)
  - 04-08-2 塑性設計小委員会 17活動報告書(五十嵐幹事)
  - 04-09 鋼構造設計規準改定小委員会(田川委員)
  - 04-10-1 英文化小委員会(松本(岡崎委員代理))
  - 04-10-2 英文化小委員会(松本(岡崎委員代理))
  - 04-10-3 英文化小委員会活動報告(松本(岡崎委員代理))
  - 04-11 各種アンカーボルト設計WG(田川委員)
  - 04-14 2018年度大会PD(兼光)
  - 04-15-1 質疑回答(五十嵐幹事)
  - 04-15-2 鋼構造関連出版物 維持管理 担当者一覧(2018)(五十嵐幹事)
  - 04-16 塑性設計小委員会重点審議資料180320(五十嵐幹事)
  - 04-17 大会鋼構造部門優秀発表者選考実施要綱(井戸田主査)
  - 04-18 プロ編依頼者(井戸田主査)
  - 04-19-1-1 Ds値説明:ラチスシェル屋根構造設計指針第6章抜粋(竹内委員)

- 04-19-1-2 鋼構造関連の規準のありかたについて(竹内) (竹内委員)
- 04-19-2 ブレース付架構 Ds 値評価見直し例 (竹内委員)
- 04-19-3 規準・指針 (井戸田主査)
- 04-19-4 想定外に思いを馳せるために (建築雑誌 201410) (井戸田主査)
- 04-19-5 目標性能から決める Ds 値 (井戸田主査)

## 5. 議事内容

### (1) 前回議事録の確認

- ・資料 04-02 に基づき、兼光より、前回議事録案の説明があり、承認された。
- ・2018 年度予算案については、各小委員会主査と協議し、確定した。

### (2) 構造本委員会の動き

- ・資料 04-03 に基づき、井戸田主査から構造本委員会の報告があった。
- ・鋼構造座屈設計指針の刊行が承認された。
- ・鋼構造運営委員会にて、若手優秀発表者選考を実施することを提示した。
- ・本委員会にて、国際化への対応について議論した。

### (3) 小委員会・WG等の報告

- ・資料 04-04～04-11 に基づき、各小委員会・WG等の担当委員から報告（現在の活動と今年度の活動報告）があった。

#### 座屈小委員会（資料 04-04-1,2 木村委員）

- ・鋼構造の座屈に関する諸問題」の刊行（2021 年度予定）に向け、引き続き検討。新しい研究の調査結果について議論。
- ・鋼構造座屈設計指針改定講習会の参加者は、東京 220 超、大阪 120 であった。
- ・座屈崩壊型鋼構造部材の性能評価 WG の委員委嘱 城戸将江 先生（北九州市立大）→本委員会にて承認

#### 接合小委員会（資料 04-05-1～4 山田委員）

- ・鋼構造接合部設計指針の改定原稿執筆に着手。溶接接合設計施工ガイドブックについては、今後検討予定。
- ・接合部設計指針改定に当たり、下記指針との調整が必要。各指針の維持管理者（04-15-2 参照）と相談し調整する。また、鋼管トラス構造設計施工指針と軽量構造設計指針は、各管理者が中心となり、それら自身の改定も合わせて検討する。
  - ・鋼管トラス構造設計施工指針・同解説（2002）（管理者：越智委員）
  - ・軽鋼構造設計指針・同解説 SI 単位版（2002）（管理者：竹内委員）
  - ・鋼構造制振設計指針（2014）（管理者：緑川委員）
- ・委員委嘱：聲高裕治 先生（京都大学） →本委員会にて承認

#### 素材小委員会（資料 04-06 見波委員）

- ・ハンドブックに関して、引続き検討している。2019 年度にデータベース用データの提供依頼を予定。

・委員委嘱：新村洋行氏（日之出水道機器） →本委員会にて承認

環境小委員会（資料 04-07-1, 2 兼光）

・2018 年度 PD の内容を検討。

塑性設計小委員会（資料 04-08-1, 2 五十嵐幹事）

・「鋼構造塑性設計指針」の第 4 版改定の議論を引き続き行った。

鋼構造設計規準改定小委員会（資料 04-09 田川委員）

・改定作業は予定通り進んでいる（次回小委員会までに、原稿案が揃う見込み）。

・書籍タイトルは、鋼構造規準・指針全体のあり方を踏まえ決める。

鋼構造関連規準・指針の英文化小委員会（資料 04-10-1～3 松本（岡崎委員代理）

・接合部指針は、2019 年度初めの刊行を目指す。

・2019 年度大会 PD を検討中。

・次の英文化は鋼構造設計規準改定版を予定。

・書籍の英文化だけでなく、国際化についても議論している。小委員会の名称を再考してもよいのではないかとの意見があった。

各種アンカーボルト設計 WG（資料 04-11 田川委員）

・Eurocode では、ひび割れが入る場所にもアンカーを設けることができる。改定では、国際化に対応して、ひび割れが入る場所でのアンカー設置について検討する。

・鋼構造運営委員会が主担当であるが、分野横断で検討している（RC 造分野から稲井先生（山口大）、合成構造分野から鈴木氏（安藤ハザマ）などが委員として参画）。

・2018 年度からの新規委員委嘱 吉敷祥一先生（東京工業大）

耐火設計関連（資料なし）（尾崎委員）

・2019 年度から小委員会を再開予定。

災害委員会（五十嵐幹事）

・前運営委員会から委員会は開催されていない。

(4) 2018 年度大会 PD について

・資料 04-14 に基づき、兼光より、2018 年度大会 PD の検討状況の報告があった。

・開催予告文案（資料 04-14）を作成し、4 月初旬に事務局に提出予定。

(5) 2019 年度大会 PD について

・次回運営委員会（5 月）にて、企画提案を受付け、次々回運営委員会（7 月）または大会前運営委員会にて決定する。

(6) 学会図書の質疑回答の報告

・資料 04-15-1 に基づき、五十嵐幹事より、質疑回答の状況報告があった。

・資料 04-15-2 に基づき、五十嵐幹事より、鋼構造関連出版物の維持管理者（2018 年度）の提示があり、了承された。

(7) 重点審議：塑性設計小委員会

・資料 04-16 に基づき、五十嵐幹事より審議内容について説明があった。資料 04-19-1-1, 04-19-1-2, 04-19-2 に基づき竹内委員より、資料 04-19-3~5 に基づき井戸田主査より関連情報の説明があった。以下、主な議論を記す。

・設計規準、指針は、対象とする限界状態を意識して整備していった方がよい。塑性設計指針は、主に安全限界を対象にしている。安全限界の定義を再考し、塑性設計指針のあり方を検討した方がよい。

・荷重、損傷、DS 値の関係を、実務での使い方に配慮し、整理した方がよい。例えば、荷重と限界状態に応じた損傷を決めると必要な DS 値が求まるなど。→できれば、塑性設計指針の改定の中で、この整理も検討してほしい。ブレース、横座屈を題材に具体的に検討してもよい。

・非構造材と構造全体の崩壊の関係、修復性（例：破断しても修復容易であれば良い、過大な変形は修復困難）を含め、建物全体の性能を設定できるようにした方がよい。

・鋼構造規準・指針の全体のあり方は、運営委員会にて別途 WG をつくり検討する。本委員会の国際化に向けた検討も念頭に検討する。

#### (8) 若手優秀発表賞について

・井戸田主査より、資料 04-17 に基づき、実施要領案の説明があった。

・名称は「日本建築学会大会鋼構造部門優秀発表者」とする。

・2018 年度大会より実施する旨を、学会 HP にて告知するとともに、委員から対象者にアナウンスしてもらおう。

・実施方法の方針は以下とする。

・プログラム編成は従来通りとする（発表賞対象者のみのセッションは設けない）。

・審査員は副司会+1~2 名を原則とする（司会は審査員としない）

・審査員選考は、プログラム決定後行う（大会プログラム編集会議では選考実施しない。各小委員会へ割り当てる方法も検討する）

#### (9) 大会プログラム編集会議について

・井戸田主査より、資料 04-18 に基づき、大会プログラム編集会議の参加依頼者の説明があり、了承された。

#### (10) HP メンテナンスについて

・担当は兼光。議事録など適宜発信していく

## 6. その他

次回運営委員会 2018 年 5 月 21 日（月） 13:30-17:00

重点審議 接合小委員会

以上